



桂七福

上方落語家。1965年、徳島県生まれ。国立阿南工業高等専門学校機械科を卒業後、精密機械メーカーに勤務。1991年、上方落語家・四代目桂福園治に入門。作家の藤本義一さんの命名で「七福」となる。上方落語協会・関西演芸協会・文化庁芸団協に所属。1997年、「徳島を発着として、故郷にこだわって全国を飛び回りたい」との想いで徳島県に戻り再出発。古典落語に加えて、教育や福祉など人権に関わる落語口演・講演講師の活動を展開。地元で多数のテレビ・ラジオ番組にレギュラー出演している。



谷口真由美

大阪国際大学准教授・(公財)世界人権問題研究センター第4部(女性の権利)部長。1975年、大阪生まれ。大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。博士(国際公共政策)。専門は国際人権法・ジェンダー法。大阪大学で非常勤講師として担当する日本国憲法の講義で「DJマユミ」として話題をよび、「大阪大学共通教育賞」を4度受賞する。テレビのコメンテーター、新聞の連載などメディアでも活躍。7歳の娘と4歳の息子、夫の4人家族。



蛭江有里

信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(EGQA)代表、日本基督教団・牧師。キリスト教の牧師として性的少数者の相談業務にかかわる。信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(EGQA)を仲間たちと1994年に立ち上げ、現在、代表。社会学研究者。立命館大学・龍谷大学などで非常勤講師を務め、人権論やジェンダー論を担当。1968年京都に生まれ、神奈川に育つ。著書『「レズビアン」という生き方』(新教出版社)ほか。



今見ムスターファ

桃山学院大学国際教養学部の3年生。1991年、アフガニスタン生まれ。8歳のとき祖国から難民としてイランへ避難。その4年後、先に日本に来ていた父が難民認定されたので、2002年に母ときょうだい合わせた家族5人全員で大阪へ。日本では小学5年生から学校に通い始めた。来日後10年のいま、大学で自分の宗教でもあるイスラームを研究しながら、英語の勉強に励んでいる。



白石

学生の時にアジアの人権運動にかかわり、人権の大切さを経験する。1980年から国際連合職員として難民保護及び援助の後、人権の仕事にたずさわる。2005年国際連合を定年退職し、2006年からアジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)所長を務めている。

ヒューライツ大阪とは

「ヒューライツ大阪」は愛称で、正式名称は「一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター」です。1994年7月に設立した公益法人で、国際人権情報の交流ハブ(拠点)をめざして活動しています。

〒550-0005 大阪市西区西木町1-7-7 高砂堂ビル8F(地下鉄木町駅27番出口すぐ)

TEL: 06-6543-7003 FAX: 06-6543-7004

メール: webmail@hurights.or.jp ウェブサイト: http://www.hurights.or.jp



会員募集中!